

報告日 令和7年9月11日

報告回次 2日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	富山県警察本部			代表者名	高木 正人
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	警務部警務課	連絡先電話番号	076-441-2211
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	大畑 祐子	連絡先E-mail	
住所	930-8570 富山県富山市新総曲輪 1 番 7 号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX人材育成		
概要	人口減少社会において人材獲得競争が激化している現状を踏まえ、DX人材の育成が必要となる。DXを推進して業務の質向上や効率化、組織の風土や文化の変革をも行うため、職員のチャレンジ精神の醸成、企画実行力及び課題解決力のノウハウ習得についてご支援いただきたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 計画策定支援 EBPM（エビデンスに基づく政策立案） 生成AI活用 働き方				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月5日	講演(実地)	13時30分	16時30分	10
				活動時間（分）	170

2-2.

派遣場所	会場名	富山県警察本部	最寄駅	富山駅
	所在地	富山県富山市新総曲輪 1 番 7 号	最寄駅からの交通手段	徒歩(10分)

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	・参加者の満足度のアンケートにおいて、9割以上が「満足」と回答。 ・「分かりやすさ」の面で非常に高評価。内容が講師の具体的な経験に基づくもので、講師自身が実践している内容であったこと、講義内容が理路整然としていること、所々にゲーム等があり、体験を通して強く記憶に残る内容だったこと等による。
アドバイザーへの要望事項	本来は7時間の研修を3時間をお願いしたため、時間が足りず、省略された箇所があった。可能であれば次回7時間のフルバージョンを依頼したい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	36人
	自治体職員	住民	企業・団体
人数	36	0	0
		0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	業務改革意識のある者、企画を実現できる実行力のある者が組織の中に少ないことが課題であり、組織内の機運醸成を含めたDX人材育成が急務である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	講座受講者一人ひとりが業務変革にチャレンジしてくことができる。また、組織内に、自発的に学び、改善し続ける姿勢を持ち、デジタル技術を活用した業務変革に積極的に挑戦する人材を育成していく。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>・リーダーシップとはどんな行動か</li><li>・ルールや法則をまとめたフレームワーク(効果分析表、5W1Hなど)</li><li>・相手を動かすための考え方や手法(相手を理解し、期待値を超える)</li><li>・企画準備のポイント(ざっくり把握、フロー化)</li><li>・目標やビジョン策定の重要性</li></ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>・DX(に限らずあらゆる業務)において目標やビジョンの策定が極めて重要であることを再認識した。今後、目標・ビジョン策定に向けた組織的な検討を行いたい。</li><li>・企画を実現するための手法(表を用いて業務を可視化すること、適切なコミュニケーションを図ること)などを学んだ。各受講者において業務改善に活かしたい。</li></ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 企画立案における役立つ手法を学び、多くの受講者のやる気向上に繋がったことが確認できた。今後、継続して多くの職員の意識改革を図っていきたい。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	時間の都合上、企画書作成等実践的な内容まではできなかった。 また受講者以外の組織全体の業務改革意識をどのように広めていくかが課題。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 受講者において今回の研修を今後の企画立案に活かしながら、研修内容を周りにも伝播させ、組織のDX推進を図る。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	警察活動の質向上や効率化、組織の風土や文化の変革を行い続け、県民の安全安心の実感(犯罪や交通事故の減少、体感的な治安向上、その他デジタルを活用した警察への相談のし易さ向上、県民からの要望による迅速なパトロール等)につなげる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

